

商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書

テーマ	レゴ(R)シリアスプレイ(R)で学ぶ「コンピテンシー」と「チーム力」				
科目名	グローバル・プロフェッション・プログラム(グローバルキャリア/タイ)				
担当教員	斎藤 正武				
実施日	2025年5月8日(木)	時限	5	時限目 実施教室	5306 教室

実施趣旨（目的）

社会人基礎力を意識するために、中大はC-Compassによるコンピテンシーを定義している。この講義（ワークショップ型）では、チームビルディングやキャリアデザイン等に博報堂など多くの企業で導入されているレゴ(R)シリアスプレイ(R) というメソッドを用い、「相互理解による協働」「利己から利他」「自分ごとからチーム事」への転換へのアウェアネスを得ることを目的にします。

実施結果

経済産業省は、若い職業人が身につけるべき「社会人基礎力」として、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力を提唱している。中央大学でも以前からC-Compassを用意してキャリア意識の形成で役に立っている。上記にあげた3つの能力の中で最も内包する能力要素が多いのが「チームで働く力」であるといわれているので、本授業では、チームビルディングやキャリアデザイン等に博報堂など多くの企業で導入されているレゴ(R)シリアスプレイ(R)というメソッドを用い、「相互理解による協働」「利己から利他」「自分ごとからチーム事」への転換へのアウェアネスを得ることを目的にした。

実施の結果、授業中に積極的な発言していない学生諸君が、前のめりになって話している姿が印象的だった。チームで問題解決をする為に必要な「在り方」に気づき、通常の授業では味わえない経験をさせることができた。学生の目は生き生きとしており、自ら発言していく積極的な行動が見て取れた。

研修のコンセプトが、考えすぎずに手に作業をしてもらう、という右脳で考えていくこと、また、自分で作った作品に対して、「言語化」という通常あまり体験しないことが問われており、いつも利用している脳とは違う体験をしていた。

最後のテーマにおいて、資格をもっている（能力を備えている）未来の自分をどう表現するか？というもので大変面白い発想が生まれていた。最後に各自でマインドフルネス、セルフリフレクションの時間があったのも、大変良い経験になった。